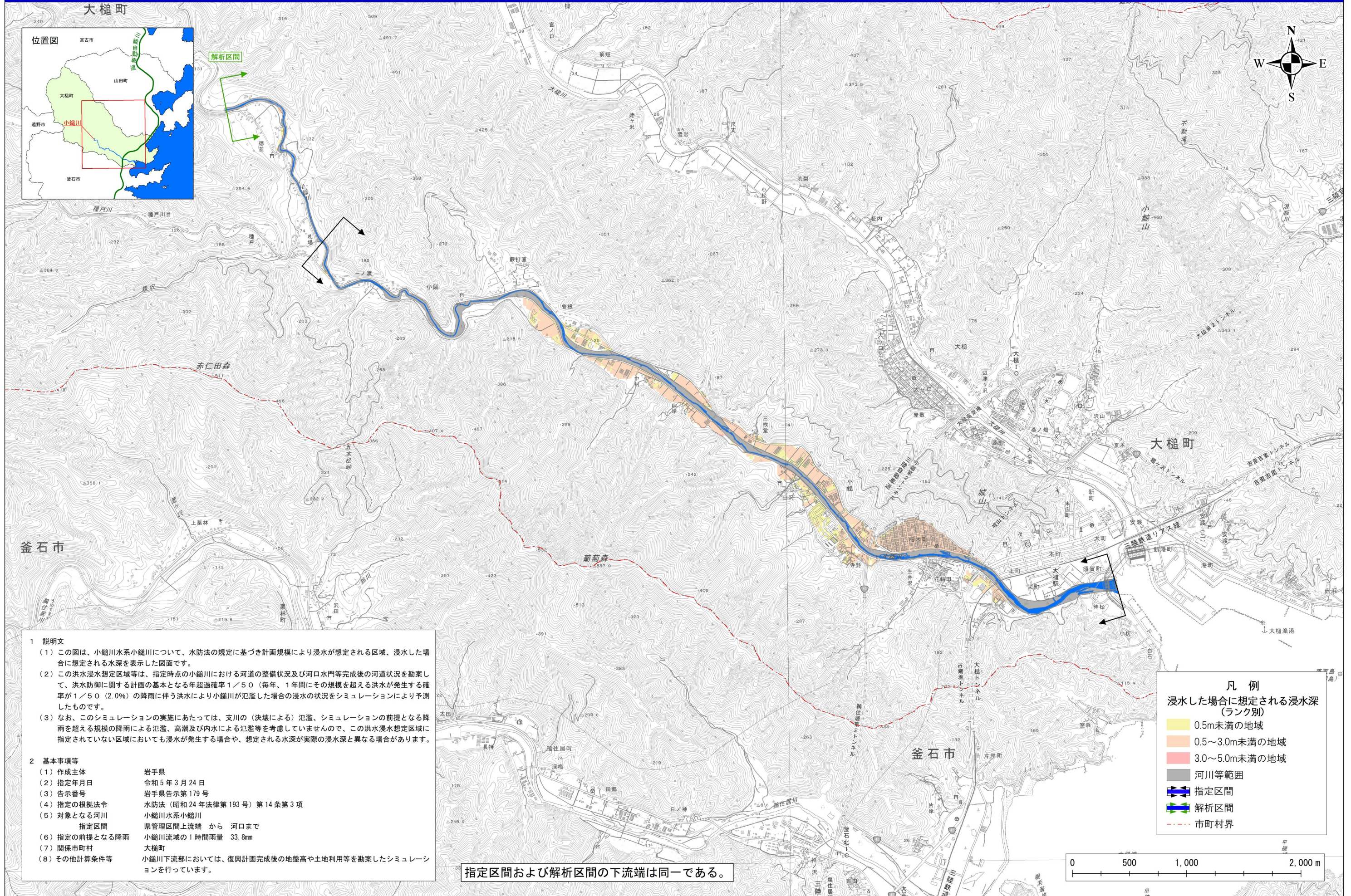


# 小鍬川水系小鍬川 洪水浸水想定区域図 (計画規模 W=1/50)



**1 説明文**

(1) この図は、小鍬川水系小鍬川について、水防法の規定に基づき計画規模により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の小鍬川における河道の整備状況及び河口水門等完成後の河道状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2.0%）の降雨に伴う洪水により小鍬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2 基本事項等**

(1) 作成主体	岩手県
(2) 指定年月日	令和5年3月24日
(3) 告示番号	岩手県告示第179号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
(5) 対象となる河川	小鍬川水系小鍬川
指定区間	県管理区間上流端 から 河口まで
(6) 指定の前提となる降雨	小鍬川流域の1時間雨量 33.8mm
(7) 関係市町村	大槌町
(8) その他計算条件等	小鍬川下流部においては、復興計画完成後の地盤高や土地利用等を勘案したシミュレーションを行っています。

指定区間および解析区間の下流端は同一である。